

旧財団法人平成23年度

事業報告

(平成23年4月～11月)

公益財団法人日本障害者スポーツ協会

《 目 次 》

I	国際障害者スポーツ総合大会への選手及び役員の派遣	
1	ロンドン2012パラリンピック競技大会事前調査事業	1
2	国際大会派遣	1
3	世界選手権・ワールドカップ国際大会への選手・役員派遣助成	2
II	競技力向上対策の推進	
1	会議の開催	2
2	競技団体に対する助成	3
3	ジャパンパラリンピック競技大会の開催	3
4	競技別大会の実施	4
5	医・科学サポート推進事業(旧科学支援推進事業)の実施	5
III	障害者スポーツの普及	
1	第11回全国障害者スポーツ大会(おいでませ山口大会)	5
2	競技別大会の実施	6
3	障害者スポーツ指導者の養成	6
4	専門委員会等の開催	7
5	地域における障害者スポーツの振興事業	8
IV	関係機関との連携	
1	国際組織との連絡調整、会議への参加	9
2	独立行政法人国際協力機構研修事業の実施	9
3	日本体育協会との連携強化	9
4	各協議会との連携	9
V	財政基盤の安定・強化	
1	国庫補助と助成団体助成金の確保	10
2	オフィシャルスポンサー制度の見直し・拡大	11
3	寄付活動の推進	12
VI	新公益法人への移行	12
VII	その他	
1	障害者スポーツの広報	12
2	アンチ・ドーピング活動の推進	12
3	東日本大震災への対応	13
4	理事会・評議員会の開催	14
5	その他	14

寄附行為に掲げる目的「障害者のスポーツの振興とその他社会復帰に援助を図り、もってわが国障害者の福祉の増進に寄与する」を達成するため、各種事業を実施した。

I 国際障害者スポーツ総合大会への選手及び役員の派遣

本年度の国際障害者スポーツ総合大会関連の選手及び役員の派遣は以下の通りである。
なお、本年度は、パラリンピック及びデフリンピックの開催はない。

1. ロンドン 2012 パラリンピック競技大会事前現地調査派遣

(1) 第1回現地調査

期 間：平成23年5月17日(火)～21日(土)

場 所：イギリス・ロンドン

内 容：事前調査団派遣について大会組織委員会、現地日本国大使館への説明、大会会場視察等

(2) IPC マーケティング会議

期 間：平成23年7月5日(火)～10日(日)

場 所：ドイツ・ボン

内 容：ロンドン大会マーケティング事業に関する情報収集等

(3) IPC 国際視覚障害クラス分け講習会

期 間：平成23年7月7日(木)～10日(日)

場 所：ドイツ・ボン

内 容：ロンドン大会適用の最新クラス分け手法の習得、資格認定試験

(4) ロンドンパラリンピック団長セミナー

期 間：平成23年9月5日(月)～12日(月)

場 所：イギリス・ロンドン

内 容：大会組織委員会による準備状況報告、部門別説明、大会会場視察等

(5) ロンドンパラリンピック JPC・競技団体現地調査

期 間：平成23年10月15日(土)～19日(水)

場 所：イギリス・ロンドン

参加者：JPC 役職員及び関係競技団体代表者等 33 名

内 容：現地邦人関係者との情報交換、選手村等の大会会場視察、大会組織委員会競技担当者との会議

2. 国際大会への派遣

(1) 第4回 IBSA 世界選手権大会

期 間：平成23年4月3日(日)開会式～10日(日)【8日間】

場 所：トルコ・アンタルヤ

実施競技：陸上競技、5人制サッカー(B1)、5人制サッカー(B2/B3)、ゴールボール、柔道、チェス、水泳、パワーリフティング ※日本からは下線競技に参加

参 加 者：選手 42 名、役員 28 名(うちガイド 3 名)

報告(成績)：金メダル 4 個、銀メダル 2 個、銅メダル 7 個

(2) パラリンピックワールドカップ 2011

期 間：平成 23 年 5 月 23 日(月)～28 日(土)【6 日間】

場 所：イギリス・マンチェスター

実施競技：陸上競技、水泳、車椅子バスケットボール(男子・女子) ※日本からは下線競技に参加

参 加 者：選手 14 名、役員 7 名、合計 21 名

報告(成績)：銀メダル 1 個、銅メダル 3 個

(3) 第 3 回 INAS グローバル競技大会

期 間：平成 23 年 9 月 26 日(月)～10 月 3 日(月)【8 日間】

場 所：イタリア・リグーリア州全土

実施競技：陸上競技、自転車、フットサル、水泳、卓球、テニス、バスケットボール、ボート(デモンストレーション競技)、柔道(オープン競技) ※日本からは下線競技に参加

参 加 者：89 名(選手 56 名・役員 33 名)

報告(成績)：金メダル 8 個、銀メダル 7 個、銅メダル 6 個 合計 21 個

3 世界選手権・ワールドカップ国際大会への選手・役員派遣助成

(1) 肢体不自由・視覚障害者関係

1) CPISRA Football 7-a-side World Championships 2011(5 人制サッカー)

期 間：平成 23 年 6 月 17 日(金)～7 月 1 日(金) 場 所：オランダ・トレンデ州

参加国数及び人数：16 カ国 290 名

報告(成績)：団体 16 カ国中 13 位

2) 車いすフェンシング世界選手権大会ハンガリーエゲル大会(車いすフェンシング)

期 間：平成 23 年 9 月 8 日(木)～11 日(日) 場 所：ハンガリー・エゲル

参加国数：18 カ国

報告(成績)：フルーレ クラスB 19 位、21 位・エペ クラスB 20 位、22 位

3) ワールドチームカップ(車椅子テニス)

期 間：平成 23 年 4 月 24 日(日)～5 月 1 日(日) 場 所：南アフリカ・プレトニア

参加国数及び人数：34 カ国選手数 350 名

報告(成績)：団体 34 カ国中 男子 1 位 女子 5 位

4) 第 4 回 IBSA テンピンボウリング世界選手権大会(視覚ボウリング)

期 間：平成 23 年 10 月 7 日(金)～16 日(日) 場 所：マレーシア・クアラルンプール

参加国数及び人数：13 カ国選手数 142 名

報告(成績)：金メダル 1 個 銀メダル 4 個 銅メダル 3 個

(2) 聴覚障害者関係

第 3 回世界デフバスケットボール選手権大会

期 間：平成 23 年 9 月 16 日(金)～24 日(土) 場 所：イタリア・パレルモ

参加国数及び人数：男子 14 カ国・女子 8 カ国

報告(成績)：男子 14 カ国中 14 位、女子 8 カ国中 8 位

II 競技力向上対策の推進

1. 会議の開催

(1) JPC 運営委員会

第 1 回会議 平成 23 年 6 月 23 日(木)

平成 23 年度事業計画・予算案の承認

(2) JPC 強化部会

第 1 回部会 平成 23 年 5 月 20 日(月)

平成 23 年度事業計画・予算案について

第 2 回部会 平成 23 年 8 月 5 日(金)

ロンドンパラリンピック選手団派遣準備について等

(3) 強化推進委員会会議

第 1 回会議 平成 23 年 5 月 20 日(月)

※第 1 回 JPC 強化部会と兼ねて開催

2. 競技団体に対する助成

JPC 加盟団体の強化指定選手の競技力向上及びのための強化合宿

区 分	平成 22 年度			平成 23 年度 (4 月～11 月)		
	団体数	事業数	総人数	団体数	事業数	総人数
肢体不自由、視覚障害関連競技団体	31	80	942	10	41	560
聴覚障害関連競技団体関係	19	83	940	2	9	161
知的障害関連競技団体	7	15	285	1	2	14
計	57	178	2,167	13	52	735

3. ジャパンパラリンピック競技大会開催事業

(1) 実施競技

1) 水泳競技大会

期 間：平成 23 年 8 月 13 日(土)～14 日(日)【2 日間】

場 所：大阪府門真市 なみはやドーム

参加人数：176 名(エントリー数)

トピックス

- ・国際パラリンピック委員会(IPC)公認大会として実施した。
- ・46 都道府県・指定都市より 176 名(男子 119 名、女子 57 名)の選手がエントリーした。
- ・33 個の大会新記録、1 個の大会タイ記録が樹立された。
- ・予選・決勝方式を採用し、2 日間で開催した。
- ・ドーピング検査を実施した。
- ・トレーナーブース・キッズルームを設置した。
- ・インターネットによる動画配信、スタートリスト/速報配信、ツイッターによる情報配信を実施した。
- ・協会ホームページにて大会レポートを掲載した。
- ・7 媒体、延 24 名のメディアが取材に訪れた。

2) 陸上競技大会

期 間：平成 23 年 9 月 24 日(土)～25 日(日)【2 日間】

場 所：大分県大分市 大分市営陸上競技場

参加人数：177 名(エントリー数)

トピックス

- ・国際パラリンピック委員会(IPC)公認大会として実施した。

- ・49 都道府県・指定都市、2か国(韓国、モンゴル)より 177 名(男子 134 名、女子 43 名)の選手がエントリーした。
- ・79 個の大会新記録、23 個の日本新記録が樹立された。
- ・インターネットによる動画配信、スタートリスト/速報配信、ツイッターによる情報配信を実施した。
- ・協会ホームページにて大会レポートを掲載した。
- ・22 媒体、延 86 名のメディアが取材に訪れた。

3) アーチェリー競技大会

期 間 : 平成 23 年 10 月 8 日(土)~10 月 9 日(日)【2 日間】

場 所 : さいたま市浦和区 埼玉県障害者交流センター

参加人数 : 43 名 (エントリー数)

トピックス

- ・オリンピックラウンド方式にて実施、1 日目個人戦予選ラウンド、2 日目個人戦決勝トーナメント。
- ・25 都道府県・指定都市より 43 名(男子 32 名、女子 11 名)の選手がエントリーした。
- ・インターネットによる動画配信、スタートリスト/速報配信、ツイッターによる情報配信を実施した。
- ・協会ホームページにて大会レポートを掲載。
- ・5 媒体、延 14 名のメディアが取材に訪れた。

(2) 検討会議

期 日 : 平成 23 年 9 月 14 日

場 所 : 東京都中央区 久松区民館 2 号室

内 容 : 要綱の確認、実施目的・開催要件について、検討日程案、その他意見・質問等

※クロスカントリースキー競技大会は平成 24 年 2 月 長野県白馬村で開催を予定しております。

※アルペンスキー競技大会は平成 24 年 3 月 長野県白馬村で開催を予定しております。

4. 競技別大会の実施

(1) 内閣総理大臣杯争奪第 40 回日本車椅子バスケットボール選手権大会

※東日本大震災のため中止となった。

(2) 厚生労働大臣杯争奪第 25 回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会

※東日本大震災のため中止となった。

(3) 厚生労働大臣杯争奪第 40 回全国身体障害者アーチェリー選手権大会

期 間 : 平成 23 年 8 月 27 日(土)~28 日(日)【2 日間】

場 所 : 神奈川県厚木市:神奈川県総合リハビリテーションセンター アーチェリー場

参加人数 : 49 名

(4) 第 31 回大分国際車いすマラソン大会

期 間 : 平成 23 年 10 月 29 日(土)~30 日(日)【2 日間】

場 所 : 大分市内

参加人数 : 220 名

(5) 2011 日本障害者自転車競技大会

期 間 : ロード競技ー平成 23 年 6 月 4 日(土)・トラック競技ー7 月 23 日(土)~24 日(日)

場 所 : 愛知県豊橋市:万場調整池(ロード競技) 京都府向日市:向日町競輪場(トラック競技)

参加人数 : 13 名(ロード競技)・ 10 名(トラック競技)

(6) 第 22 回全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会

期 間 : 平成 23 年 11 月 26(土)~27 日(土)【2 日間】

場 所 : 神戸市須磨区:グリーンアリーナ神戸

参加チーム : 6 チーム

5. 医・科学サポート推進事業(旧科学支援推進事業)の実施

(1) JPC・競技団体・サポートスタッフのネットワーク構築

1) 事業推進委員会会議の実施

第1回 平成23年8月5日(金)

2) 競技団体サポートスタッフ会議の実施

第1回 平成23年8月6日(土)

第2回 平成23年11月20日(日)

3) 医・科学・情報サポートネットワーク会議の実施

平成23年11月20日(日)

(2)対象競技団体サポート

1) メンタル指導(心理サポート)：専門スタッフを派遣しての指導

回数	団体名	期日	場所
第1回	日本車いすテニス協会	平成23年10月21日	ビーンズドーム(兵庫県三木市)
第2回	日本身体障害者水泳連盟	平成23年11月11日	福岡市立総合西市民プール会議室(福岡市)
第3回	日本身体障害者アーチェリー連盟	平成23年11月22日～23日	大阪市舞洲障害者スポーツセンター「アミティ舞洲」 (大阪市)、浜寺公園アーチェリー場(大阪府堺市)

2) トレーナーサポート:専門スタッフを派遣しての指導

回数	団体名	期日	場所
第1回	日本ゴールボール協会(女子)	平成23年10月1日～2日	国立障害者リハビリテーションセンター (埼玉県所沢市)
第2回	日本ゴールボール協会(女子)	平成23年11月3日～6日	中国 杭州
第3回	日本身体障害者水泳連盟	平成23年11月12日	福岡市立総合西市民プール(福岡市)
第4回	日本視覚障害者柔道連盟	平成23年11月27日	講道館(東京都文京区)

3) 情報分析:専門スタッフを派遣しての指導及びメールや面談によるサポート

回数	団体名	期日	場所
第1回	日本ゴールボール協会(女子)	平成23年10月1日	国立障害者リハビリテーションセンター (埼玉県所沢市)
第2回	ウィルチェアーラグビー	平成23年10月1日～22日	メールや面談によるサポート
第3回	車椅子バスケットボール(女子)	平成23年10月25日～11月2日	メールや面談によるサポート

※上記の他、動作解析、体力測定、栄養指導、医学的管理についてサポート活動を順次実施予定

Ⅲ 障害者スポーツの普及

1. 第11回全国障害者スポーツ大会(おいでませ山口大会)

(1) 本大会(財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成23年10月22日(土)～24日(月)
 開閉式会場 維新百年記念公園陸上競技場
 愛 称 おいでませ！山口大会
 大会スローガン きみの一生けんめいに会いたい
 参加選手数 5,404名(選手3,238名 役員2,166名)

(2) 地区予選会(財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成 23 年 4 月～6 月

内 容 ブロックごとに身体障害者、知的障害者及び精神障害者の団体競技について
予選を行う。

	団体競技名	北海道 東 北	関 東	北信越 東 海	近 畿	中 国 四 国	九 州	開催地枠
身体	車椅子バスケットボール	仙台市	千葉県	愛知県	神戸市	高知県	沖縄県	山口県
	グラントソフトボール	青森県	群馬県	三重県	京都府	広島県	鹿児島県	山口県
	バレーボール(男子)		東京都	愛知県	大阪市	広島市	福岡市	山口県
	バレーボール(女子)	福島県	神奈川県	岐阜県	大阪市	広島市	沖縄県	山口県
知的	バスケットボール(男子)	秋田県	横浜市	長野県	大阪市	高知県	福岡県	山口県
	バスケットボール(女子)	秋田県	東京都	愛知県	大阪市	岡山県	沖縄県	山口県
	ソフトボール	青森県	東京都	岐阜県	奈良県	岡山県	福岡県	山口県
	バレーボール(男子)	宮城県	東京都	岐阜県	兵庫県	高知県	北九州市	山口県
	バレーボール(女子)	宮城県	東京都	岐阜県	兵庫県	高知県	宮崎県	山口県
	サッカー	札幌市	東京都	静岡県	大阪府	島根県	沖縄県	山口県
	フットベースボール	岩手県	東京都	静岡県	神戸市	岡山県	熊本県	山口県
精神	バレーボール	秋田県	埼玉県	浜松市	兵庫県	岡山県	佐賀県	山口県

2. 競技別大会の実施

競技団体との共催により障害者スポーツ普及のために次の大会を実施する。

第 21 回国際盲人マラソンかすみがうら大会

※東日本大震災のため中止となった。

3. 障害者スポーツ指導者の養成

(1) 障害者スポーツ指導者養成事業

主催事業として以下の講習会を実施した。なお、一部講習会の後期講習及び 2 次講習は年度後半
(平成 23 年 12 月～平成 24 年 3 月)に実施する。

講習会名		開催期間	場 所	受講者数
中級スポーツ指導者養成講習会(1) (後期は、12 月 14 日～18 日に実施)	前期	平成 23 年 8 月 24 日～28 日	福岡市	23 名
中級スポーツ指導者養成講習会(2) (後期は、平成 24 年 1 月 20 日～24 日に実施)	前期	平成 23 年 9 月 14 日～18 日	名古屋市	31 名
中級スポーツ指導者養成講習会(3) 日本体育協会指導者対象		平成 23 年 11 月 3 日～6 日	大阪市	19 名
上級スポーツ指導者養成講習会	前期	平成 23 年 9 月 23 日～26 日	東京都	26 名
	後期	平成 23 年 11 月 26 日～29 日		
障害者スポーツコーチ養成講習会	前期	平成 23 年 9 月 2 日～4 日	東京都	11 名
	後期	平成 23 年 11 月 18 日～20 日		
障害者スポーツトレーナー養成講習会 (2 次の実技については、2 月 10 日～12 日に実施)	1 次(理論)	平成 24 年 10 月 8 日～10 日	横浜市	20 名

(2) 資質向上のための研修事業

公認障害者スポーツ指導者の資質向上のために次の研修会を実施する。

研修会名	開催期間	場所	受講者数
全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会	平成 23 年 6 月 18 日～19 日	岐阜県	36 名

4 専門委員会(技術委員会・医学委員会・科学委員会)等の開催

(1) 技術委員会

1) 第1回

日 時 : 平成 23 年 7 月 25 日(月) 場 所 : 戸山サンライズ 2 階 中研修室

<議事内容>

- ・活動方針と分担、全国障害者スポーツ大会について、指導者養成研修関係、障害者スポーツ指導教本の改訂について、障害区分判定研修会報告と今後の在り方、日体協公認指導者対象の中級講習会について、地域振興について、生涯スポーツ・体力づくり全国会議への参画について、障害者スポーツセミナーとその後について

<報告事項>

- ・全国障害者スポーツ大会競技規則の大幅見直し検討会(平成 22 年度とその後)、精神障害者スポーツ実態調査研究委員会、山口大会リハーサル大会技術指導員派遣報告、山口大会ブロック予選会の実施状況、山口大会 陸上競技 走路加工措置の取りやめ通知

<主な承認事項>

- ・精神障害者スポーツ実態調査研究委員会への参画。全国障害者スポーツ大会への精神障害者の個人競技・種目導入を見据えて活動する。
- ・指導教本については、制度や規則の変更に即した一部改訂をする。
- ・日本体育協会指導者を対象とした中級講習会のカリキュラムの見直し及び受講対象者の拡大。
- ・生涯スポーツ・体力づくり全国会議の担当を決めて、来年度以降、積極的に参画する。

2) 第2回

日 時 : 平成 23 年 11 月 21 日(月) 場 所 : 日本橋公会堂

<議事内容>

- ・事務分掌と担当者の決定

<報告事項>

- ・全国障害者スポーツ大会報告、障害者スポーツセミナー企画会議報告、生涯スポーツ・体力づくり全国会議進捗状況、精神障害者スポーツ活動実態調査委員会進捗状況、指導教本改訂作業の進捗状況、日体協指導者対象の中級講習会カリキュラムの見直しについて(案)、その他

<主な承認事項>

- ・新体制の活動方針並びに事務分掌の決定
- ・全国障害者スポーツ大会、指導者養成・研修、地域振興の3つの柱を中心に活動する。
- ・その他、女性のスポーツ参画、調査研究、各種学会との連携等についても行う。

(2) 平成 23 年度医学委員会

期 日 : 平成 23 年 7 月 2 日(土)

場 所 : 東京都中央区 中央区立総合スポーツセンター 3 階 第 3 会議室

内 容 : 事業報告、医学委員会報告、各部会・委員報告、その他報告、協会事業計画について、医科学センター・NTC 構想、医・科学・情報サポート事業、メディカルチェックサポート、他

(3) 平成 23 年度科学委員会

期 日 : 平成 23 年 7 月 3 日(日)

場 所 : 東京都中央区 堀留町区民館 2 号室

内 容 : 委員の任期について、活動予定、障害者スポーツセミナーの検討、科学サポートについて、ロンドンパラ現地事前視察、関連学会情報の共有、関連情報の収集と発信、活動報告、他

(4) その他

1) 平成 23 年度第 1 回精神障害者スポーツ実態調査研究委員会

期 日 : 平成 23 年 7 月 31 日(日)

場 所 : 東京都新宿区 戸山サンライズ 2階 中研修室

内 容 : 委員長及び委員紹介、調査目的の説明、調査・報告手順、情報共有の仕方、作業工程の確認、調査方法の検討、アンケート・聞き取り調査先実施先の検討、アンケート項目について、他

2) 第 10 回障害者スポーツセミナー企画会議

期 日 : 平成 23 年 11 月 1 日(火)

場 所 : 東京都中央区 人形町区民館 6 階 会議室

内 容 : 作業スケジュール等の確認、実施要綱(案)・時間割について、セミナー構成内容の決定、基調講演のテーマ・演者の検討、周知方法・参加者募集方法の確認、まとめ・今後の作業・担当について、他

5 地域における障害者スポーツの振興事業

当協会公認障害者スポーツ指導員を活用し、地域の特性を考慮したスポーツ指導等のモデル事業を実施した。

(1) 第 1 回会議

日 時 : 平成 23 年 6 月 10 日(金)

場 所 : 中央区人形町久松区民館 会議室

内 容 : 平成 23 年度事業の概要確認、平成 24 年度以降の事業について

※事業実施団体は埼玉県障害者スポーツ指導者協議会及び福岡県障害者スポーツ協会となり、下記モデル事業を継続中である。

1) 埼玉県障害者スポーツ指導者協議会

事業名 : 埼玉県における新たな分野での障害者スポーツの普及と障害者スポーツ指導員の活用

内 容 : 障害者スポーツ教室・大会・交流イベントの実施

(野球教室・フットサル大会・女子サッカー教室・ウォーキング大会・事業検討会議)

2) 福岡県障害者スポーツ協会

事業名 : 福岡県内における障害者スポーツ振興事業

内 容 : スポーツ教室(知的障害児の水泳・バスケットボール、フローバレーボール)、指導者の派遣(総合型地域スポーツクラブの基盤づくり、特別支援学校での普及・指導者派遣、障害者施設等での普及・指導者派遣)、全国大会の県代表選手強化のための指導者派遣、選手強化事業

(2) 第 2 回会議

平成 24 年 2 月に下記内容を議題として開催予定である。

・モデル事業の報告、報告書の作成について、次年度の事業について

IV. 関係機関との連携等

1 国際組織との連絡調整、会議への参加

国際パラリンピック委員会をはじめとする国際組織に加盟し、連絡・調整を図るため、本年度は次の国際会議に参加する。

INAS 総会 開催日程:平成 23 年 4 月 17 日
 開催場所:オーストラリア キャンベラ

2 独立行政法人国際協力機構研修事業の実施

独立行政法人国際協力機構への協力(JICA 研修員受入事業) 養成研修部担当

アジア・オセアニア地域の開発途上国から 9 名の研修員を受け入れ、障害者スポーツリーダー育成の研修事業を行う。

技術研修期間 : 平成 23 年 10 月 3 日(月)~11 月 9 日(水)

技術研修会場 : JICA 東京研修センター、東京都障害者総合スポーツセンター、東京都多摩障害者スポーツセンター、戸山サンライズ他

視察研修等 : 全国障害者スポーツ大会(山口県)、国立障害者リハビリテーションセンター、埼玉県立総合リハビリテーションセンター他

研 修 内 容 : 当協会指導者養成の中級相当のカリキュラム内容を 30 項目の講義・演習を実施。

3 日本体育協会との連携強化

(1) 日本体育協会への公認アスレティックトレーナー、スポーツドクターの推薦

1) 公認アスレティックトレーナー

星野 直志(全日本ろうあ連盟スポーツ委員会)

2)公認スポーツドクター

大仲 功一(茨城県立医療大学付属病院)

東 瑞貴(横浜旭中央総合病院)

大貫 学(埼玉医科大学総合医療センター)

(2) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2012 ー人・スポーツ・未来ー

1) 実行委員会 平成 23 年 6 月 7 日(火) 文科省青少年局会議室

・開催テーマおよび 2012 年の実施計画案

・予算報告等

・開催地、開催日の確認(秋田県 平成 24 年 2 月 10 日開催予定)

2) 行委員会 平成 23 年 8 月 5 日(金) 文科省青少年局会議室

・会場施設の検討

・開催趣旨、要項内容の検討

3) 実行委員会 平成 23 年 10 月 27 日(木)

・開催要綱案のとりまとめ

・今後のスケジュールの確認

・分科会内容の確認

4 各協議会との連携

【障害者スポーツ指導者協議会】

(1) 第 1 回運営委員会 平成 23 年 5 月 9 日(月) 会場:戸山サンライズ

平成 23 年度事業計画について

東日本大震災への支援について
指導員証のカード化について
各事業部会の委嘱について

- (2) 第2回運営委員会 平成23年11月15日(火) 会場:戸山サンライズ
全国障害者スポーツ指導者研修会の開催について
障害者スポーツ指導員へのアンケート調査について
各事業部の事業報告
平成24年度事業計画案と助成事業案について

【各事業部会会議】

(1) 研修部会

- 1) 第1回研修部会 平成23年5月16日(月) 会場:三菱コンファレンスルーム M+
第8回全国障害者スポーツ指導者研修会の総括
平成23年度事業計画および担当について
- 2) 第2回研修部会 平成23年11月23日(水) 会場:神戸市立市民福祉スポーツセンター
第9回全国障害者スポーツ指導者研修会開催について
ステップアップ研修会の運営について
平成24年度事業計画案について

(2) 情報部会

- 第1回情報部会 平成23年9月15日(木) 会場:戸山サンライズ
障害者スポーツ指導員へのアンケート調査について
JSAD 情報ネットワークの内容について

V 財政基盤の安定・強化

1. 国庫補助と助成団体(福祉医療機構・スポーツ振興くじ・JKA)助成金の確保

事業実施に必要な体制整備のためには財政基盤の安定が不可欠である。国及び民間助成団体に対し、障害者スポーツの現況に理解を求め、必要な財源確保に努めた。

(1) 国庫補助金の状況

平成23年度国庫補助金(身体障害者体育等振興費補助金)は、トップレベルの競技者に対する指定選手強化事業経費が平成22年度25,556万円から25,119万円の大幅な増額となった。

(2) 社会福祉振興助成金(独立行政法人福祉医療機構)

平成23年度社会福祉振興助成事業については、前年度の5事業を下記3事業にまとめたこともあり、平成22年度13,769万円から3,728万円減額となった。

- 1) 平成23年度ジャパンパラリンピック開催事業
- 2) 平成23年度障害者スポーツ強化事業
- 3) 平成23年度障害者スポーツ人材養成事業

※その他、当協会登録・加盟13団体が助成を受けた。

(3) スポーツ振興助成金(独立行政法人日本スポーツ振興センター)

本助成金の申請及び報告については、当協会が取りまとめを行い実施した。

1) スポーツ振興基金助成

スポーツ振興基金助成金の申請も3年目を迎え、下記のとおり助成事業も増え、前年度の2,974万円に比べ1,210万円増額となった。

- ① 第3回 INAS-FID グローバル大会参加事業(NPO 法人日本知的障害者スポーツ連盟)
- ② IPCAS アルペンスキーワールドカップ派遣事業(NPO 法人日本障害者スキー連盟)

- ③ 第 13 回全日本身体障害者野球選手権大会(日本身体障害者野球連盟)
- ④ 厚生労働大臣杯争奪第 25 回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会
(日本車椅子ツインバスケットボール連盟)
- ⑤ 第 10 回全日本ろう者サッカー選手権大会・第 3 回全日本ろう者女子サッカー選手権大会
(日本ろう者サッカー協会)
- ⑥ 第 40 回全国身体障害者アーチェリー選手権大会(日本身体障害者アーチェリー連盟)
- ⑦ 第 11 回 CP サッカー全日本選手権大会(日本脳性麻痺 7 人制サッカー協会)
- ⑧ 2012FID ジャパン・チャンピオンリーグ卓球大会(日本知的障害者卓球連盟)
- ⑨ 2011 IBSA ブラインドサッカーアジア選手権(日本ブラインドサッカー協会)
- ⑩ 第 3 回日・中・韓車いすカーリング選手権大会(日本チェアカーリング協会)

2) スポーツ振興くじ助成

本年度から、当協会事業として情報誌の発行に助成があり、前年度の 1,188 万円に比べ 1,724 万円増額となった。

- ① JSAD SPORTS 情報誌発行事業(財団法人日本障害者スポーツ協会)
- ② 第 3 回中国四国障害者オープンゴルフ選手権開催事業(日本障害者ゴルフ協会)
- ③ 2011 日本ゴールボール協会主催 4 大会事業(日本ゴールボール協会)
- ④ 第 13 回ウィルチェアラグビー日本選手権大会予選リーグ開催事業
(日本ウィルチェアラグビー連盟)
- ⑤ ドーピング検査事業(財団法人日本障害者スポーツ協会)
- ⑥ 第 40 回日本車椅子バスケットボール選手権大会予選会開催事業
(日本車椅子バスケットボール連盟)
- ⑦ 第 14 回シットイングバレーボール全国親善交流大会 in 白馬
(日本シットイングバレーボール協会)

2 オフィシャルスポンサー制度の見直し・拡大

オリンピックをはじめとするメジャースポーツへの協賛とは異なり、パラリンピック協賛は、社員教育や社会貢献活動の一環に位置付けている企業が多い。そのため、現行の協賛額はその対価として妥当であるとする企業が少なく、スポンサーへの参入に躊躇しているケースが散見される。そこで、このような企業が応援しやすくなるように協賛内容を見直すとともに、オフィシャルスポンサーの拡大に努める。

■JPC オフィシャルスポンサー一覧(2011.11.30 現在)

協 賛 カ テ ゴ リ ー	企 業 ・ 団 体 名
JPC オフィシャルパートナー(5 社)	ヤフー株式会社 日本航空株式会社 JA 共済連 トラスコ中山株式会社 西濃シェンカー株式会社
JPC オフィシャルサポーター(10 社)	カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社 株式会社富士住建 株式会社グロリアツアーズ 株式会社 JTB 法人東京 大塚製薬株式会社 株式会社シーエーシー 株式会社福祉施設共済会 株式会社α テック・パシフィック 全労済
ジャパンパラリンピック公式サポーター(2 社)	株式会社ティーガイア 株式会社トクホン

3 寄付活動の推進

従来からの寄付の継続を依頼するほか、昨年に引き続きパラリンピックメダル受賞者に対する報奨金及び選手の育成強化のための寄付活動を行い、下記の金額を受領いたしました。(4月～11月)

パラリンピック募金	5 件	1,630,387 円
一般寄附	105 件	13,659,000 円
指定寄附	11 件	118,374,971 円
寄附合計	121 件	133,664,358 円

VI 公益法人への移行

公益法人制度改革の主旨にそった運営が行えるよう体制を整備し、平成23年4月に内閣府へ公益法人移行申請書を提出し、11月に内閣総理大臣名義の公益財団法人認定書を受領した。

【移行までの推移】

平成23年4月20日	内閣府へ公益法人移行申請書提出
平成23年5月～	各種規程、規則等の作成・改廃(継続)
平成23年11月25日	公益財団法人認定書受領(内閣府)
(平成23年12月1日	公益財団法人設立登記)

VII その他

1 障害者スポーツの広報

(1) ホームページによる情報発信

障害者スポーツの普及・啓発に関する情報をはじめ、当協会主催事業の案内・報告、国際大会派遣に関する情報提供などを積極的に行う。

(2) マスメディアへの情報提供

協会主催事業のプレスリリース配布、本協会に著作権のある映像の貸し出し、要望に応じた各種資料の提供、取材先の紹介等の情報提供を行い、報道機会の拡大に努める。

ポスター、広報冊子・映像等、下記の普及・啓発素材を作成・配布する。

- 1) 情報誌「JSAD SPORTS」
- 2) 冊子「歴史と現状」
- 3) 障害者スポーツ映像(協会公式ウェブサイト配信)
- 4) ジャパンパラリンピック夏季競技大会、同冬季競技大会のポスターの配布。
- 5) ジャパンパラリンピック大会ホームページの設置

2 アンチ・ドーピング活動の推進

(1) 競技会検査

No.	競技会名	期日	場所	検体数
1	大分陸上 2011	5月15日	大分市営陸上競技場	2
2	日本身体障害者陸上競技選手権大会	7月9日～10日	堺市金岡公園陸上競技場	2
3	ジャパンパラリンピック水泳競技大会	8月13日～14日	大阪府門真市 なみはやドーム	8
4	ジャパンパラリンピック陸上競技大会	9月24日～25日	大分市営陸上競技場	8
5	ジャパンパラリンピックアーチェリー競技大会	10月8日～9日	埼玉県障害者交流センター	8
6	関東身体障害者陸上競技選手権大会	10月10日	上尾運動公園陸上競技場	2
7	大分国際車いすマラソン大会	10月30日	大分市内	8

8	全日本盲人マラソン選手権	11月23日	福知山マラソンコース	2
9	全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会	11月26日～27日	グリーンアリーナ神戸	4

【以下予定】

No.	競技会名	期日	場所	検体数
1	全日本ディスエイブルパワーリフティング選手権大会	12月11日	東京スポーツ文化館	2
2	IPC 公認アイススレッジホッケー国際競技大会	1月16日～22日	長野市 ビッグハット	8
3	西日本障害者パワーリフティング選手権大会	2月17日～19日	名古屋芸術大学体育館	2
4	JSFD 春季記録会	3月11日	静岡 富士市	2
5	九州チャレンジカップ陸上競技選手権大会	3月18日	熊本県民総合運動公園	2
6	ジャパンパラリンピッククロスカントリースキー競技大会	2月17日～19日	長野県白馬村 白馬スノーハープ	4
7	ジャパンパラリンピックアルペンスキー競技大会	3月22日～25日	長野県白馬村 八方尾根スキー場	6

(2) 使用薬物調査指導

No.	団体名	期日	場所	内容
1	日本知的障害者陸上競技連盟	5月4日	成田Uシティホテル	概論、TUE 申請
2	日本ウィルチェアーラグビー連盟	5月5日	東京都障害者総合スポーツセンター	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS
3	日本車いすテニス協会	5月16日	筑豊ハイツ(福岡県飯塚市)	概論
4	日本電動車椅子サッカー協会	6月19日	ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS
5	全日本視覚障害者ボウリング協会	7月2日	シチズンボウル(新宿区高田馬場)	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS
6	日本ブラインドサッカー協会	7月16日	セントラルホテル八王子(都内)	概論
7	日本アイススレッジホッケー協会	7月17日	やまびこスケートの森アイスアリーナ (長野県岡谷市)	ADAMS
8	日本身体障害者陸上競技連盟	9月24日	大分市営陸上競技場(大分県)	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS

【以下予定】

No.	団体名	期日	場所	内容
1	日本ディスエイブルパワーリフティング連盟	12月11日	東京スポーツ文化館(都内)	概論、TUE 申請
2	日本聴覚障害者陸上競技連盟	12月18日	横須賀市立ろう学校	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS
3	日本デフバレーボール協会(女子)	3月11日	都内	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS
4	日本デフバレーボール協会(男子)	3月18日	晴嵐会館(滋賀:大津市)	概論、検査手順、 TUE 申請、ADAMS

3 東日本大震災への対応

平成 22 年度に引き続き被災地への支援として下記の対応を行った。

- (1) 東日本大震災では、被害の集中した宮城県、岩手県、福島県、仙台市の各障害者スポーツ協会が連携し、特に原子力発電所事故等も含めて不自由な生活を強いられている障害者スポーツ愛好者の方々を支援するため、福島県障がい者スポーツ協会が中心となり「東日本大震災障がい者スポーツ義援金」を創設。

当協会では、全国の障害者スポーツ協会、障害者スポーツ指導者協議会はもとより障害者スポーツ競技団体、協賛企業に対しご協力のご依頼を通知するとともに、ウェブサイトへ通知文を掲載し、広く支援を呼びかけた。

- (2) スポーツによる被災地の子どもたちの心のケア活動等の支援(スポーツ振興くじ助成)

当協会では、特に被害が甚大であった宮城県、岩手県、福島県、仙台市各障害者スポーツ協会に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センターから助成金の交付を受け「障害者スポーツ被災地復興活動事業」として下記事業への助成を行った。

- 1) 障がい者スポーツ振興(復興)事業(岩手県障がい者社会参加推進センター)
- 2) 平成 23 年度全国障害者スポーツ大会宮城県選手団強化事業(宮城県障害者スポーツ協会)
- 3) サッカー交流と障害者サッカー体験会開催事業(仙台市障害者スポーツ協会)
- 4) 福島県障がい者スポーツ復興支援事業(福島県障がい者スポーツ協会)

4 理事会・評議員会の開催

- (1) 評議員会

日 時 平成 23 年 6 月 24 日(金) 14 時～
場 所 東京シティ・エアターミナル(T-CAT) 1 階会議室
審議事項 平成 22 年度事業報告(案)・決算報告(案)、平成 23 年度収支補正予算(案)
人事案件、公益財団法人の定款変更(案)の一部修正等、その他

- (2) 理事会

日 時 平成 23 年 6 月 24 日(金) 15 時～
場 所 東京シティ・エアターミナル(T-CAT) 1 階会議室
審議事項 平成 22 年度事業報告(案)・決算報告(案)、平成 23 年度収支補正予算(案)
人事案件、公益財団法人の定款変更(案)の一部修正等、その他

5 その他

当協会会長表彰及び3協議会(障害者スポーツ協会協議会・障害者スポーツ指導者協議会・障害者スポーツ競技団体競技会)並びに障害者スポーツセミナーについては、平成 24 年 3 月に開催を予定している。